

低コスト路網を活用した効率的な間伐方法の確立

～ 低コスト路網生産システムの推進 ～

1 趣旨

当局管内の森林資源は次第に成熟期を迎えつつあり、今後利用間伐の対象となる資材が増加することとなるが、このような資源を有効利用するためには、高性能林業機械を活用した、効率的な生産システムを導入することが必要不可欠である。

特に、低コスト路網と高性能林業機械を組み合わせ、伐採から搬出までの標準的な作業システムの構築が大きな課題となっているところです。

このため、森林技術センターにおいては、高性能林業機械を導入しても壊れにくい集材路の作設技術と高性能林業機械による効率的な集材方法を確立することを目標として、平成19年度から3年間で標記課題の技術開発を行います。

さらに、本調査において得られた成果については、当局が行う間伐等の効率的な推進に活用するとともに、民有林を含む森林・林業関係者への普及に努めることとします。



2 試験内容

(1) 低コスト路網の整備

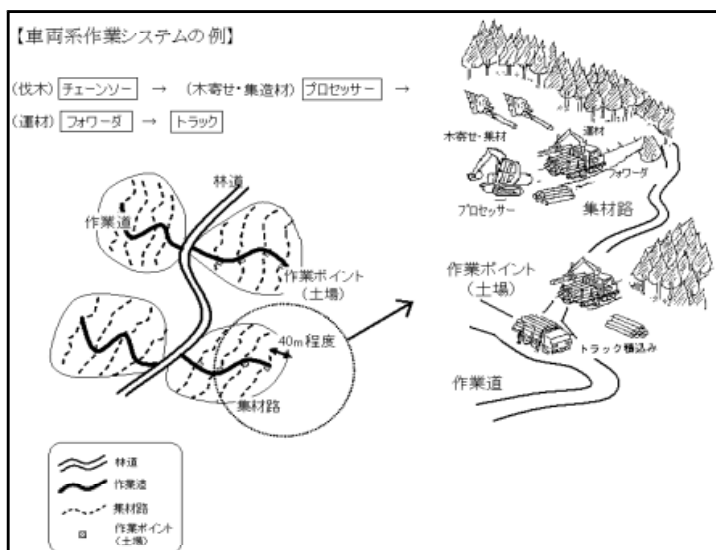
当地域で一般的に普及しているベースマシン0.45m3クラスの高性能林業機械に見合う集材・運材のための集材路の作設調査及び林地への影響、施工後の経過等についての調査します。

(2) 高性能林業機械の効率的使用

路網間隔を40mとした場合について、チェーンソーによる伐倒、プロセッサ等により集材・造材、フォワーダによる運搬までの一連の工程を調査します。

(3) 基礎データの収集・分析等

素材生産のトータルコスト低減に向けた基礎データの収集・分析を行い、得られた成果から、「低コスト路網を活用した効率的な間伐方法」を確立し、技術開発成果の普及・定着のためのモデル林として設定します。



3 試験地概要

- ・岡山県北西部に位置する古谷国有林
527林班
- ・面積62.89 ha
- ・平成19・20年度の間伐実施
- ・スギ、ヒノキ主体

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣田、白角
TEL：050-3160-6751